

# News Letter

2018年

11月

中国四国農政局  
鳥取県拠点

## ジビエ解体処理施設「ちづDeer's」の取り組みについて

「ちづDeer's」(智頭町東宇塚)は、平成30年4月に開業したジビエ解体処理施設です。「Deer」は英語で「シカ」を意味し、シカ肉の解体処理として施設認定を受けました。



(ちづDeer's 赤堀代表)

赤堀さんは、平成26年にわな猟免許を取得し、平成28年に智頭町の百人委員会の獣害部会に入会しました。高齢化が進む狩猟者のなかでは待望の若手の加入で、赤堀さんにかかる期待は大きいものでした。同じ時期に、智頭町内で解体処理施設建設の機運が高まりましたが、狩猟者の高齢化で手を挙げる者がおらず、計画が頓挫しそうになりました。そのようななか、赤堀さんは一念発起し、また周りの後押しもあって、「ちづDeer's」設立の運びとなりました。

現在、町内外の料理店へシカ肉を提供しているほか、学校給食では月1回程度、ジビエ料理の食材として使用されています。

智頭町は町内のほとんどが山間地で、近年は獣害被害に悩まされており、例年、シカ1000頭、イノシシ300頭が捕獲されています。獣害対策としては、狩猟者による捕獲が頼みの綱となっています。

捕獲されたシカは、その鮮度を保つため、2時間以内に処理を行う必要があります。現在、赤堀代表1人で作業を行っており、1日3~4頭が限界です。12月から智頭町の地域おこし協力隊(ジビエ振興担当)の協力を得られる予定で、解体処理の補助や、シカ肉のPRなど販売促進にも期待がかかります。

将来的には加工品の商品開発を行い、経営が軌道に乗れば地元雇用を考えているという赤堀代表。獣害対策に、また地域振興の一助になることが期待されます。

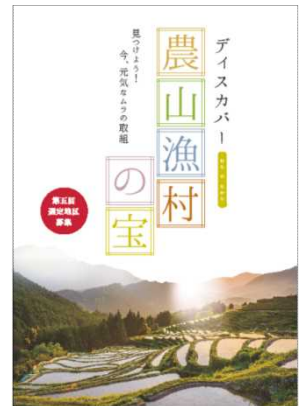


(衛生管理された施設内部と商品化されたシカ肉)

## 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」第5回選定について

11月22日、「ディスカバー農山漁村の宝」第5回選定のなかから、グランプリおよび特別賞の選定が行われました。中国四国地区では、北川村ゆず輸出促進協議会（高知県北川村）が特別賞（チャレンジ賞）に選ばれました。

また、中国四国農政局においても、中国四国農政局「ディスカバー農山漁村の宝」として15地区を選定しました。管内の農山漁村の活性化に資することを目的に、これを広く発信する予定です。鳥取県内では、「JA鳥取中央あぐりキッズスクール」が選ばれました。未来を担う子どもたちに農業体験学習などを通じて農業・食文化の大切さを学んでもらうなどの取り組みが評価されました。詳しくはこちらをご覧ください。



中国四国農政局「ディスカバー農山漁村の宝」の選定結果について  
<http://www.maff.go.jp/chushi/press/shinko/181122.html>

## コメ海外市場拡大戦略プロジェクト 31年産輸出用米推進マッチングイベント（岡山会場）

「コメ海外市場拡大戦略プロジェクト」立ち上げから1年。

現在まで63の戦略的輸出事業者と257の戦略輸出基地の皆様に登録いただき、各産地と事業者が一体となり、自慢の米の輸出に果敢に取り組まれています。

今般、31年産輸出用米推進に向けた情報交換と、輸出用米の産地と輸出事業者のマッチングを目的としたマッチングイベントを開催します。詳しくはこちらをご覧ください。

※中国四国農政局ホームページ [http://www.maff.go.jp/chushi/press/se\\_sinko/181122.html](http://www.maff.go.jp/chushi/press/se_sinko/181122.html)



◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 鳥取県拠点

〒680-0845 鳥取市富安町2丁目89番地4 鳥取第1地方合同庁舎

TEL (0857)22-3131(代) FAX(0857)27-9672 <農政局HP> <http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>